

「平和が一番、命と暮らしを守ろう」 山都町・浜町商店街に響く市民の切実な声

～日米共同演習反対アピールデモ報告～

参加した市民の熱い思いが天に通じたかのように、デモの間は雨に見舞われることもなく、地域の平和と住民の平穏な暮らしを守るため、力強い歌声とコールが山都町の街並みに響き渡りました。去る2026年6月14日、日米共同軍事演習に反対する集会を終えた市民らが、山都町の中心部である浜町商店街一帯でアピールデモ行進を行いました。「だれひとり置き去りにしない、誰もが安心して暮らせる社会」を願う参加者たちは、沿道の市民や買い物客に向けて、軍事一辺倒の政治に対する不安と、平和への切実な願いを訴えかけました。

「大軍拡より暮らしを」 心に届く訴えに沿道からも共感

マイクを握った女性の「日米共同演習反対!」「大軍拡・増税反対!」というコールに合わせ、参加者たちは元気に前進。商店街を練り歩きました。デモ隊が特に強く訴えたのは、私たちの日常を脅かす軍事化への懸念です。

「大砲の音はもう聞きたくない」
「この美しい空に、
欠陥機であるオスプレイはいらない」
「敵を呼び込む長射程ミサイルは、
どこの街にも必要ない」

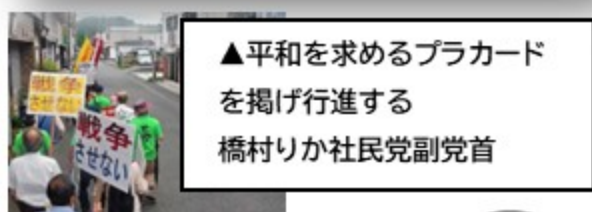
参加者からは、「戦争の準備ではなく、憲法を守り、市民の暮らしや若者たちの未来を最優先にする政治こそが必要だ」という、血の通った言葉が次々と聞こえてきました。「若者たちを絶対に戦場に送らせない、そんなものは嫌だ!」という切実な訴えには、商店街の軒先から見守る市民や、車中から手を振るドライバーなど、多くの共感の視線が注がれていました。





雨に見舞われることもなく アピールは続く

幸いにもデモの間は雨に見舞われることもなく、最後まで全員が笑顔と確信に満ちた表情で歩みを進めることができました。主催者はデモの終わりに、「私たちの闘いはこれからも続きます。地域の命と暮らしを守るために、これからも共に声を上げていきましょう」と締めくくり、参加者や沿道の人々への深い感謝を伝えました。軍事拠点の強化が進む中であっても、地域の主役はそこに暮らす住民一人ひとりです。「平和が一番、基地より暮らし」——その当たり前の願いを再確認させる、確かな一歩となるアピール行動となりました。



📺 本デモの様子をYouTubeで動画配信中！

今回の山都町アピールデモの生き生きとした様子や、参加者の熱い訴えは、現在YouTubeにて動画として配信されています。

映像からは、商店街を歩むデモ隊の熱気や沿道との温かい交流、そして平和への強いメッセージがダイレクトに伝わってきます。紙面だけではお伝えしきれない当日の鼓動を、ぜひ動画でもご覧いただき、平和の輪を広げていきましょう。

・YouTube動画タイトル: 「2026 6 14日米共同軍事演習反対アピール行動」

・視聴方法: YouTube内で上記タイトルで検索していただくか、以下のリンクよりご覧いただけます。

<https://youtu.be/LZDI256LcFU>



この二次元コードからもアクセスできます